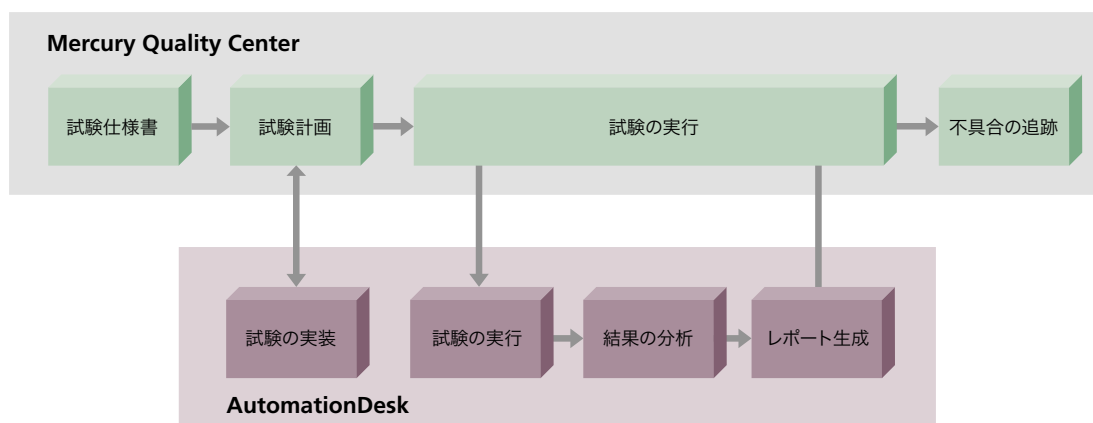


シームレスな試験プロセス

- AutomationDesk と Mercury Quality Center™ / TestDirector® の接続
- Quality Center クライアントを使用した AutomationDesk へのアクセス
- Quality Center 内のセントラルデータストレージ

dSPACE の自動試験ソフトウェア AutomationDesk は、オープンアーキテクチャのため、他の開発環境でも使用することができます。お客様の依頼があれば、AutomationDesk は Web ベースの試験管理ツール Mercury Quality Center™ (または Mercury TestDirector®) に接続可能で、この 2 つのツールの優れた機能を利用することができます。その結果、試験仕様から不具合の追跡までのシームレスなツールベースの試験プロセスが実現します。



▲ Quality Center と AutomationDesk によるテストプロセス

Mercury Quality Center と AutomationDesk

2つのプログラムがリンクされると、試験は Quality Center で管理、選択され、AutomationDesk で遠隔制御されます。Quality Center は試験プロセスのすべてのフェーズを組織化し、管理するのに使用されます。これには、試験仕様、試験計画、試験の実行、不具合の追跡などが含まれます。試験の実装、試験の実行、結果の分析、レポート作成などの試験に直接関連した作業は AutomationDesk で実行されます。AutomationDesk から、HIL (hardware-in-the-loop) プラットフォームや計測および適合システムへ簡単にアクセスできます。AutomationDesk の重要な機能は Quality Center クライアントから利用できるため、ほとんどの試験プロセスユーザーは AutomationDesk の操作を詳しく知っている必要はありません。

2つのツールの利点

AutomationDesk を Mercury Quality Center とリンクさせると、2つのツールの次のような機能と恩恵を受けることができます。

- 試験仕様から不具合の追跡に至るまでのシームレスな試験プロセス

- Quality Center のプロセス管理機能
- AutomationDesk によるグラフィカルな試験開発環境と dSPACE シミュレータへのアクセス
- Mercury Quality Center 内のセントラルデータストレージ
- すべての AutomationDesk 試験と結果への Quality Center クライアントからのアクセス

2つのツールの相互関係

Mercury Quality Center はクライアント (Web ベースのユーザーフロントエンド) とサーバー (試験、不具合、ワークフロー等を含むデータベース) とで構成されています。AutomationDesk と Quality Center は COM インターフェースで接続されています。AutomationDesk のプロジェクトは、Quality Center のデータベースへエクスポートされ、追加されます。AutomationDesk プロジェクトは Quality Center クライアントで表示され、パラメータ化され、実行されます。AutomationDesk の試験結果とレポートは Quality Center のデータベースに追加され、すべての Quality Center クライアントで表示可能です。また、AutomationDesk は最近 Quality Center に統合された Mercury TestDirector に接続することもできます。